

# FOCUS

追いかける。大学生。

## まか通 手しごとと職人のまち 東山再発見プロジェクト

京の職人にフォーカス

芸術を通して京都市東山区の地域活性化に関わる京都造形芸術大のプロジェクトチーム「まか通」。扱うテーマは建築、文化、伝説や伝承、風習など多岐にわたる。その中で、京の職人に焦点を当てた「手しごとと職人のまち東山再発見プロジェクト」に迫った。



職人サミットでトークセッションを行う学生、職人ら（3月17日・京都市東山区総合庁舎で 撮影＝得津三枝）

「環境問題で使われなくなった登り窯を再生活用してほしい」と依頼されたのがそもそもの始まりだ。京都造形大の関本徹生教授を中心に、一般に知られていない京都の裏側を案内する「京都摩訶不思議案内LIVE」が誕生。その活動はその後、大学認定プロジェクト「まか通」として東山区六原地区の地域活性化に関わるようになった。いろいろなテーマを毎年定めて、芸術で地域を活性化しているまか通。「手しごとと職人のまち東山再発見プロジェクト」は「京都の職人を

もっと外に知らせていこう」と2012年からまか通と東山区の協働事業で始まったプロジェクトだ。同プロジェクトでは後継ぎ難で店をたたむことも多い職人同士をつなげることを目的に、かつてまか通で作成してきた「職人マップ」を参考に「職人見聞録」を作成してきた。アポイントメントを取らず、学生自らが路地を歩いて見つけた職人に突撃取材し、それを編集。職人は突然の訪問に表情を曇らせることもあったが、話を聞くにつれて心を開き、仕事への誇りや

## 京都の職人、多角的に紹介

魅力を熱く自慢げに語ってくれたという。およそ400の職人を調査し、居場所や職種を記した「職人マップ」に加え、後継ぎの有無などの詳細を「職人見聞録」に盛り込んだ。1年間の活動の締めくくりの場として開かれた3月17日の「職人サミット」では、職人や区役所職員とまか通の学生によるトークセッションが開催された。職人のあり方について自由に話し合い、「伝統的な製造を続けるべきか」、「現代のニーズに合わせるべきか」などの



職人サミットを計画した手しごとと職人のまち東山再発見プロジェクトの学生たち（3月17日・京都市東山区総合庁舎で 撮影＝得津三枝）

立場に分かれての展開となった。同プロジェクトリーダーの河西祐介さん（京都造形大・3年）はサミットを振り返り「来て下さった方にごでの話を広めてほしい。より多くの人に職人の現状について知ってもらいたい」と話した。同プロジェクトでは今後、職人をプロデュースして職人同士の横のつながりを作るために、調査したマップをウェブ上にデータベース化する（聞き手＝得津三枝）

### FOCUSは

神戸大学ニュースネット委員会  
同志社大学 PRESS 編集部  
NEWS 立命通信社  
関学新月通信社  
大阪大学 POST 編集部

関西大学タイムス編集部  
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部  
京都女子大学藤花通信編集部  
京都大学 EXPRESS 編集部

の共同編集による週刊フリーペーパーです

## UNN関西学生報道連盟

配信・発行 (C) UNN 関西学生報道連盟 (公式HP) <http://www.unn-news.com/>

■共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 4-2-24 ダイニホンビル 4F

(TEL) 06-6307-1315 (FAX) 06-6829-6353 (MAIL) [info@unn-news.com](mailto:info@unn-news.com)